

RBS

RITSUMEIKAN UNIVERSITY
BUSINESS
SCHOOL

立命館大学ビジネススクール
[大学院経営管理研究科]

挑戦と創造、その先へ。

多様な背景の人々が集い、異なる視点が交わる場は、
無限の可能性を秘めている。

ビジネスを創り出す原動力は、まさにそのような場から生まれる。
関西から世界へ。境界を越えた先には、まだ見ぬ自分が待っている。

立命館大学ビジネススクール ― 未来を切り拓くために。

挑戦と創造、
その先へ。

RBS
RITSUMEIKAN UNIVERSITY
BUSINESS
SCHOOL

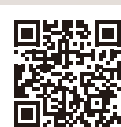
立命館大学ビジネススクール（大学院経営管理研究科）

【お問い合わせ】

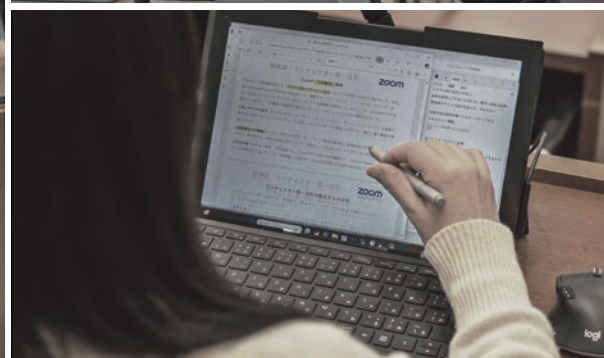
立命館大学 OIC 独立研究科事務室（経営管理研究科事務局）

〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150

TEL: 072-665-2101 FAX: 072-665-2109 E-mail: rbs-ras@st.ritsumeikan.ac.jp



Guide 2026



創造する力は、「つなぐ力」。 ——ビジネスの未来を切り拓くRBSでの学び

RBSのミッション

地球上の人口が80億人を超えた今、私たち人類は、分断や対立を乗り越え、持続可能な発展という共通の課題に取り組むことが求められています。ビジネスの世界でも、社会や環境に関する諸課題の解決を、企業の成長・発展に向けた取り組みと一体的に進めることが不可欠となり、そのためには広い視野と深い専門知識を持ち、「創造性」を発揮できる人材がこれまで以上に必要とされています。

このような時代の要請に応えるため、立命館大学ビジネススクール（RBS）は、「ビジネスを創造するリーダー」として、世界および日本の持続可能な発展を担う人材の育成をミッションに掲げています。

多様な視点が交わる実践的な学びが「つなぐ力」を育む

ある世界的な起業家は、「創造性とは、異なる分野の疑問や課題、アイデアやひらめきをつなぎ合わせる力だ」と説きました。RBSでは、ビジネスに関する知識を体系的に学んだ上で、これらを実践的な知識へと昇華させる魅力的なカリキュラムを提供しています。多くの授業では、ディスカッションやグループワークといった他者を介したアクティブな学びを大切にしています。他者との交流や知識の共有は、新たな視点や発想を生み出し、既存の知識を結びつけて新たな価値を創造する原動力となるのです。

RBSには、業種や職種、キャリアの異なる多様な学生が集まっています。学びを通じて築かれたネットワークは、生涯にわたる貴重な財産となるでしょう。

RBSが考える「ビジネスを創造するリーダー」とは

RBSでは、さまざまなモノやコトをつなぎ、ビジネス課題の解決のために常に挑戦しつづけ、未来を切り拓いていく人材を、「ビジネスを創造するリーダー」ととらえています。RBSは、その証となる学位として、経営管理専攻では「経営修士（MBA）」を、観光マネジメント専攻では「観光経営修士（観光MBA）」をそれぞれ授与しています。

RBSは、実務界の英知と学術を基盤とした論理によって、ビジネスの新たな可能性を追求する皆さんをサポートします。時期を逃さず、RBSの扉を開いてください。すでに多くの修了生が、それぞれのフィールドで挑戦を続け、希望部署への配属、昇進、転職、起業、事業承継など、キャリアの転機で期待を超える成果をあげています。RBSは、皆さんとの実りある出会いを楽しみにしています。

立命館大学ビジネススクール
（大学院経営管理研究科）
研究科長

牧田 正裕



ビジネスを創造するリーダーを 育成する2つの専攻

新たな挑戦に向かうビジネスパーソンから、自分の可能性を広げたい学部卒業生まで。
経営管理と観光マネジメントの2つの専攻で、一人ひとりの目標に応じた段階的な学びを実現します。
理論と実践を重ねながら、新しい価値を創造する力を育みます。



RITSUMEIKAN UNIVERSITY BUSINESS SCHOOL



経営管理専攻

Major in Management

ビジネスを創造するリーダーとして求められる能力を
身につけるために。「新しい何か」を創る創造性を磨きます。

マネジメントプログラム

- ビジネスパーソン対象
- 大阪梅田キャンパス開講

キャリア形成プログラム

- 学部卒業生（留学生含む）対象
- 大阪いばらきキャンパス開講

観光マネジメント専攻

Major in Tourism Management

観光産業の企業・団体等でビジネスを創造する
リーダーとして求められる能力を身につけます。

観光事業マネジメントプログラム

- ビジネスパーソン対象
- 大阪梅田キャンパス開講（オンライン受講可）

観光事業キャリア形成プログラム

- 学部卒業生（留学生含む）対象
- 大阪いばらきキャンパス開講

RBSでの学びの特色

Feature 01

現場の知と理論を融合し、
思考力を鍛える

豊富な実践経験を持つ実務家教員と、本質について理論化を行う研究者教員。両者との対話から、実践と理論に根ざした確かな思考力が育まれます。

Feature 02

アクティブな学びで磨く
実践力とリーダーシップ

実際のビジネスケースで意思決定力を、「創造」にフォーカスした科目で構想力を身につけます。企業と連携するプロジェクトやフィールドワークでは実践的なアクティビティを通してリーダーシップを磨きます。

Feature 03

多様な視点が創る、
新たな可能性

若手経営者から人生後半のキャリア転換を図る人まで、多様な仲間と共に学びます。教室の内外でのフラットで建設的な議論から、新たな気づきが生まれるとともに、修了後も支え合う関係が築かれます。

[修了生の学びの成果 項目評価（5.0満点）]

※2024年修了生アンケートより。個々の経験は、それぞれの目標や状況により異なります。

● 戦略思考力の向上	4.53 / 5.00
● 創造性の向上	4.35 / 5.00
● リーダーシップの向上	4.49 / 5.00
● キャリアの可能性の広がり	4.67 / 5.00

プログラム
総合満足度
90%超

[標準修業年限] 2年（在学年限最長4年）

[キャンパス別開講時間]

		1・2 限	3・4 限	5・6 限	6・7 限
大阪梅田キャンパス	平日	—	—	—	18:30～21:55
	土	9:10～12:35	13:35～17:00	18:00～21:25	—
	日	9:10～12:35	13:35～17:00	—	—
大阪いばらきキャンパス	平日	9:00～12:30	13:20～16:50	—	—

大阪梅田キャンパス 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル5階（JR「大阪駅」から徒歩約5分）
大阪いばらきキャンパス 茨木市岩倉町2-150（JR「茨木駅」から徒歩約5分）

アクセス案内
（大阪梅田キャンパス／
大阪いばらきキャンパス）



[クォーター制] 約2ヶ月7回の講義で1科目を履修します（200分×7回＝2単位）

1 年 次					2 年 次				
4月-5月	6月-7月	8月-9月 [集中講義]	10月-11月	12月-1月	4月-5月	6月-7月	8月-9月 [集中講義]	10月-11月	12月-1月
コア科目[A群・B群] 中心の履修		実習科目	選択科目中心の履修		選択科目中心の履修		演習科目(ゼミ)		

経営管理専攻

Major in Management

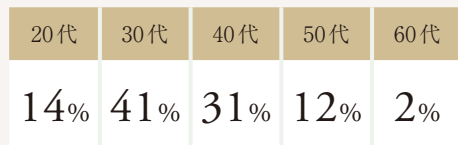
マネジメントプログラム

Management Development Track

ビジネスを創造するリーダーとして求められる能力を身につけるためのプログラムです。大学卒業後、勤続3年以上の方を対象としています。経営者や経営幹部を志向する方だけでなく、自分らしいキャリアを構築したい方や、起業を検討している方、あるいは第二創業、事業継承を検討している方も歓迎します。授業は大阪梅田キャンパスにて、平日夜間と土日に開講。また、仕事の関係等でキャンパスでの授業に直接参加できない場合には、全授業回数の半数を超えない範囲でオンライン受講も可能です。

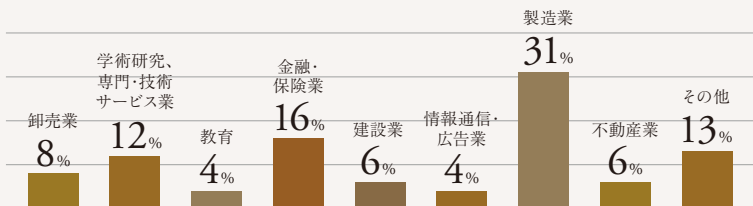


[在学生の年齢]



※小数点以下第1位を四捨五入しています。

[在学生の所属業界の割合]



キャリア形成プログラム

Career Development Track

将来、ビジネスを創造するリーダーになるために必要とされる力量を向上させるプログラムです。主に大学卒業後、勤続3年未満の方を対象としています。経営を一から学ぶだけでなく、グループワークやプレゼンテーションを通じて、実践的な課題発見力や解決力、コミュニケーション力を磨きます。授業は原則として大阪いばらきキャンパスにて平日の昼間に開講。日本人学生と留学生がお互い異文化理解を深めながら切磋琢磨しています。また、ゼミやRBSビジネス創造リンクエージの活動では、マネジメントプログラムの院生とも交流する機会があります。



[過去3年間の本プログラム修了生の主な就職先企業名]

- | | | |
|--------------------|--------------------------|------------------------|
| ● (株)IHI | ● (株)セガ | ● スヴォトン テクノロジージャパン (株) |
| ● アクセンチュア (株) | ● 大日本印刷 (株) | ● (株)野村総合研究所 |
| ● アビームコンサルティング (株) | ● (株)大和総研 | ● (株)博報堂 |
| ● (株)NTT データ | ● TDK (株) | ● 古河機械金属 (株) |
| ● カシオ計算機 (株) | ● 日本アイ・ビー・エム (株) | ● (株)三井住友銀行 |
| ● キンドリルジャパン (株) | ● 日本タタ・コンサルタンシー・サービス (株) | ● (株)三菱UFJ銀行 |

(50音順)

VUCA (Volatility; 変動性、Uncertainty; 不確実性、Complexity; 複雑性、Ambiguity; 曖昧性) と呼ばれるようになった事業環境において、ビジネスリーダーが戦略的意思決定を行い、経営戦略を実行することは、容易なことではありません。しかし、逆説的ではありますが、そのような事業環境であるからこそ、ビジネスチャンスがたくさん存在しているというのも、また事実です。経営管理専攻では、この潜在的ビジネスチャンスを掴み取り、日本のみならず、世界で活躍することのできるビジネスリーダーの育成を目的としたカリキュラムを用意しています。また、経営学の基礎から実践的な科目まで、学術のプロフェッショナルの教員 (アカデミア) と経験豊富な実務のプロフェッショナルの教員 (プラクティショナー) が、それぞれの工夫を凝らしたティーチング手法で授業を運営しています。

みなさん、「ビジネスを創造するリーダー」を目指して、その一步を踏み出してみませんか？

副研究科長
経営管理専攻 専攻長

水野 由香里



修了生の声 | マネジメントプログラム

MBAへの挑戦を決意したのは、適切な経営判断を行うために幅広い知識が必要だと感じたためです。RBSでは、ケーススタディなど理論と実践を融合させた学びを通じて、企業経営に必要な知識を体系立てて身につけました。これにより、既存事業はもちろん、新規事業の展開にも自信を持つことができました。RBSは、多様なバックグラウンドを持つ仲間と切磋琢磨できる場です。学びを通じて自己成長を遂げたい方に強くお勧めします。

橋本 智之 さん
白くま調剤株式会社
代表取締役



在学生の声 | キャリア形成プログラム

大学時代は英語を専攻し、卒業後、語学力を活かしつつ経営学を体系的に学んで実践的なビジネススキルを高めたいと考え、RBSへの入学を希望しました。RBSの特長は、実践的な学びと多様なバックグラウンドを持つ仲間との協働です。特に、「サービスイノベーション」の授業では、顧客インタビューや質的分析を通じて革新的なサービスを開発する方法を学びました。将来は国際的なビジネス環境で、顧客体験を重視した戦略立案に携わりたいと考えています。

YANG Yujia さん
上海外国語大学
賢達経済人文学院 外国語学部



[マネジメントプログラム開講科目一覧]

コア科目 (18単位以上)		選択科目 (特殊講義を除く科目から18単位以上)		実習科目	演習科目 (必修4単位)
A群(必修12単位)	B群(6単位以上)	ユニット	特殊講義		
競争戦略 組織行動 マーケティング アカウンティング ファイナンス ビジネス創造	国際経営 企業倫理とサステイナブル経営	戦略ユニット	経営管理 特殊講義 マネジメント 特殊講義	プロジェクト マネジメント 海外 フィールド ワーク	課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ
		ビジネスモデル構築 新規事業開発 戦略的意思決定 国際経営戦略			
		グローバルビジネスの実践 技術・オペレーションの マネジメント ICTビジネス戦略			
		組織ユニット			
		人的資源管理 キャリア開発 異文化マネジメント			
		コーチング コーポレートガバナンス ファミリービジネス			
		マーケティングユニット			
		マーケティングリサーチ 消費者行動 商品開発			
		デジタルマーケティング ブランドマネジメント			
		会計ファイナンスユニット			
競争戦略 組織行動 マーケティング アカウンティング ファイナンス ビジネス創造	国際経営 企業倫理とサステイナブル経営	財務会計 管理会計 企業分析 コーポレートファイナンス	経営管理 特殊講義 マネジメント 特殊講義	プロジェクト マネジメント 海外 フィールド ワーク	課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ
		M&A戦略 ストラクチャードファイナンス 投資戦略 ベンチャーファイナンス			
		ビジネス共通ユニット			
		国際政治経済 ビジネス法務 論理的思考と プレゼンテーション			
		Business Communication Business Negotiation			
競争戦略 組織行動 マーケティング アカウンティング ファイナンス ビジネス創造	国際経営 企業倫理とサステイナブル経営	ビジネスユニット	経営管理 特殊講義 キャリア形成 特殊講義	プロジェクト マネジメント 海外 フィールド ワーク	課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ
		ビジネスモデル構築 新規事業開発 マーケティングリサーチ 消費者行動 商品開発			
		デジタルマーケティング 技術・オペレーションの マネジメント 異文化マネジメント コーポレートガバナンス ファミリービジネス			
		会計ファイナンスユニット			
		財務会計 管理会計 企業分析			
		コーポレートファイナンス M&A戦略と企業価値評価 投資戦略			
		キャリア形成共通ユニット			
		論理的思考と プレゼンテーション 国際政治経済 産業動態分析			
		日本の産業と企業 キャリア開発 Business Communication Business Negotiation			

[キャリア形成プログラム開講科目一覧]

コア科目 (18単位以上)		選択科目 (特殊講義を除く科目から18単位以上)		実習科目	演習科目 (必修4単位)
A群(必修12単位)	B群(6単位以上)	ユニット	特殊講義		
競争戦略 組織行動 マーケティング アカウンティング ファイナンス ビジネス創造	国際経営 企業倫理とサステイナブル経営	ビジネスユニット	経営管理 特殊講義 キャリア形成 特殊講義	プロジェクト マネジメント 海外 フィールド ワーク	課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ
		ビジネスモデル構築 新規事業開発 マーケティングリサーチ 消費者行動 商品開発			
		デジタルマーケティング 技術・オペレーションの マネジメント 異文化マネジメント コーポレートガバナンス ファミリービジネス			
		会計ファイナンスユニット			
		財務会計 管理会計 企業分析			
		コーポレートファイナンス M&A戦略と企業価値評価 投資戦略			
		キャリア形成共通ユニット			
		論理的思考と プレゼンテーション 国際政治経済 産業動態分析			
		日本の産業と企業 キャリア開発 Business Communication Business Negotiation			

RBSの学び | 経営管理専攻

新規事業開発

企業が持続し成長していくためには、今ある既存事業を頑張るだけではなく、継続的に新規事業を作りだしていく必要があります。しかし、既存事業は「右手」に、新規事業は「左手」にたとえられるように、新規事業の進め方は既存事業の進め方とは異なり、いやむしろ正反対ともいえるところがあります。新規事業を進める方法は、あらたに身につける必要があるのです。この授業では、イノベーションの理論を学び、新規事業を考えるための検討ステップやさまざまなツールを伝えるのと共に、受講者が自社または自分自身の新規事業のテーマを選び、実際に新規事業をつくる検討を模擬的に進めていきます。新たなビジネスを作り出す「左手」が使える人は、世間でも大いに求められています。この授業を通じて、新規事業を作り出す力を身につけ、またあなたのキャリアを拡大するチャンスを広げてください。



河瀬 誠 教授



RBSの学び | 経営管理専攻

課題研究

課題研究では自らの問題意識を深く掘り下げ、最終的に独自性のある提案や主張を行います。興味や熱意を形にする機会であると同時に、社会に新たな価値を生み出す機会でもあります。研究は1年に及ぶ長期的な取り組みで、時には困難を伴い、暗中模索をすることもあります。しかし、指導教員との度重なる面談、他のゼミ生とのディスカッションから、徐々に視界が開けていきます。このプロセスは、人生で二度とない貴重な経験となりえます。挑戦心を持って、自己の実現と価値の創造へ向けた旅路を楽しんでいただければと思います。それが、あなたのキャリアをさらなる高みへと導くことでしょう。



小菅 竜介 教授
副研究科長



過去の課題研究テーマ

- 製造業メーカーにおける技術系管理職の実態と果たすべき役割
- 日本繊維産業の復興への道のりー日本繊維産業の再飛翔に向けて直面している課題と対策ー
- 高等教育機関におけるインターナル・ブランディングの構想ー個人の仕事経験に注目してー
- 返品在庫の活用と社会貢献型ビジネスモデルの構築ー低所得者層支援とリテールメディアパートナーの新戦略ー
- 現代女性のキャリア形成と働くモチベーションーライフステージからの視座ー
- 信楽焼窯元の世界ブランド確立を目指す新規事業
- ポッドキャストを通じたブランド・リレーションシップの形成
- 日本における中国ブランドの確立とブランディング戦略



穴井 宏和 教授

〔専門分野〕アントレプレナーシップ、デジタルイノベーション(デジタルアントレプレナーシップ、デジタルエコシステム)、起業家金融
〔経歴〕ゴールドマン・サックス証券、J.P.モルガン証券の日本株シニアアナリストを経て現職。



小菅 竜介 教授

〔専門分野〕マーケティング、サービスマネジメント
〔経歴〕東京大学で博士号取得。ストックホルム商科大学研究員を経て、現職。現在は、主に顧客経験について研究。



永田 稔 教授

〔専門分野〕人的資源管理、リーダーシップ、異文化マネジメント、キャリア開発
〔経歴〕一橋大学卒。米国UCLA MBA。松下電器、マッキンゼー、タワーズワトソンを経て、ヒラボジェイビー代表。



村上 啓二 教授

〔専門分野〕ファイナンス、リスクマネジメント、サプライチェーンマネジメント、経営戦略
〔経歴〕京都大学経営管理大学院博士後期課程修了。博士(経営科学)。三菱商事(株)、京都大学特定准教授を経て現職。



奥村 陽一 教授

〔専門分野〕会計学、企業分析
〔経歴〕立命館大学経営学部教授を経て、2006年より経営管理研究科教授。2020年学校法人立命館常務理事。



高橋 慶治 教授

〔専門分野〕行動科学 ポジティブ心理学 コーチング心理学
〔経歴〕認定ポジティブ心理学プラクティショナー、認定解決志向コーチ、NLPコーチ、エンアグラム指導者。



橋本 正明 教授

〔専門分野〕ファイナンス
〔経歴〕早稲田大学卒業後、山一證券、アーティス総研社長等を経て2015年フィナンシャル・ラボ設立。2017年より現職。



山本 真司 教授

〔専門分野〕戦略コンサルティング、戦略経営、経営思想
〔経歴〕BCG、A.T.カーニー 戦略グループアジア太平洋代表、ペインアンドカンパニー東京代表パートナー。



河瀬 誠 教授

〔専門分野〕事業戦略、技術予測・技術戦略、新規事業戦略、海外戦略
〔経歴〕東京大学工学部卒、ボストン大学にて理学修士とMBA取得。A.T.カーニー、ソフトバンク等を経て現職。



田中 伸 教授

〔専門分野〕財務会計、財務管理、コーポレートガバナンス、医療経営
〔経歴〕京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了 博士(経済学)。



前田 東岐 准教授

〔専門分野〕組織論、経営管理論
〔経歴〕1997年立命館大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了。博士(経営学、立命館大学)。



肥塚 浩 教授

〔専門分野〕経営戦略、介護経営
〔経歴〕1990年立命館大学大学院経済学研究科博士後期課程単位修得退学、1998年博士(経営学、立命館大学)。



谷口 学 教授

〔専門分野〕財務会計、管理会計
〔経歴〕公認会計士。太田昭和監査法人、三洋電機、(株)京都新聞ホールディングス常務取締役、損害保険ジャパン(株)顧問等。



水野 由香里 教授

〔専門分野〕経営学
〔経歴〕東北大学博士(経営学)。中小PMIガイドライン策定小委員会委員、中小企業政策審議会臨時委員などを歴任。

客員教員

青木 淳
〔現職〕(株)淳風満帆代表取締役、(株)LIXIL 社外取締役、フィデアホールディングス(株)社外取締役、マッキンゼー・アンド・カンパニー・シニアアドバイザー
〔担当科目〕グローバルビジネスの実践

大島 一博
〔現職〕(株)国際社会経済研究所理事

岡本 薫明
〔現職〕日本たばこ産業(株)取締役副会長

桑津 浩太郎
〔現職〕桑津調査房代表、総務省情報通信審議会委員
〔担当科目〕ICTビジネス戦略

櫻田 謙悟
〔現職〕(公財)SOMPO美術財団理事長

嶋内 秀之
〔現職〕(株)アントレプレナーファクトリー代表取締役
〔担当科目〕ビジネス創造

非常勤講師

池田 吉成
〔現職〕(医)和風会法人統括本部長、前(株)企業再生支援機構シニアディレクター
〔担当科目〕論理的思考とプレゼンテーション、医療経営

石井 真一
〔現職〕大阪公立大学大学院経営学研究科教授・大阪公立大学商学部教授
〔担当科目〕国際経営戦略、国際経営

伊藤 崇
〔現職〕MARL DESIGN STUDIO 一級建築士&マーケティング事務所代表
〔担当科目〕デザイン思考

稲垣 誠二
〔現職〕(株)SIAF 代表取締役、(公財)滋賀レイクスターズ監事、稲垣誠二公認会計士事務所代表
〔担当科目〕アカウンティング

井上 博
〔現職〕阪南大学 経営学部教授・阪南大学大学院 企業情報研究科教授
〔担当科目〕国際政治経済

奥田 真也
〔現職〕名古屋市立大学大学院データサイエンス研究科
〔担当科目〕産業動態分析

木村 まさみ
〔現職〕関西学院大学教育学部非常勤講師、武庫川女子大学文学部英語グローバル学科非常勤講師
〔担当科目〕Business Communication

古村 公久
〔現職〕京都産業大学経営学部准教授、公認会計士古村公久事務所代表
〔担当科目〕企業倫理とサステナブル経営

杉浦 愛
〔現職〕大日本印刷(株)
〔担当科目〕消費者行動

曽根 秀一
〔現職〕(大)静岡文化芸術大学 文化政策学部教授
〔担当科目〕ファミリービジネス

巽 直樹
〔現職〕アクセンチュア(株) ビジネスコンサルティング本部マネージング・ディレクター
〔担当科目〕資源・エネルギービジネス

陳 世宗
〔現職〕(株)宏善代表取締役会長、(株)惠善独立取締役兼報酬委員および審計委員、財団法人犯罪矯正発展基金會理事、財団法人真善美基金會理事、国立台北商業大学非常勤講師、国立台湾科技大学非常勤講師、立命館アジア太平洋大学客員教授、武雄アジア大学構想実現アドバイザー、日華協会台湾代表

中村 葉志生
〔現職〕(株)ハリウッドカンパニー 代表取締役
〔担当科目〕企業倫理とサステナブル経営

益田 勝也
〔現職〕(株)野村総合研究所 プリンシパル、筑波大学 特任教授
〔担当科目〕食農ビジネス開発

竹田 宗継
〔現職〕同志社大学グローバル・コミュニケーション学部嘱託講師
〔担当科目〕Business Communication

辻田 素子
〔現職〕龍谷大学 経済学部教授
〔担当科目〕ファミリービジネス

徳永 貴超
〔現職〕インタートラスト・マネージメント(株) デジタルマーケティングコンサルタント データサイエンティスト
〔担当科目〕デジタルマーケティング

中道 一心
〔現職〕同志社大学 商学部教授
〔担当科目〕日本の産業と企業

西岡 久充
〔現職〕龍谷大学 経営学部教授
〔担当科目〕統計・データ分析

西田 和倫
〔現職〕西田公認会計士事務所代表
〔担当科目〕企業分析

西村 仁
〔現職〕ジン・コンサルティング代表 生産技術コンサルタント
〔担当科目〕技術・オペレーションのマネジメント

橋本 良子
〔現職〕事業構想大学院大学事業構想研究科教授
〔担当科目〕ビジネス創造

畑中 艶子
〔現職〕国際ファッション専門職大学国際ファッション学部准教授
〔担当科目〕ビジネス創造

服部 繁一
〔現職〕桃山学院大学 ビジネスデザイン学部 准教授
〔担当科目〕ビジネスモデル構築

朴 修賢
〔現職〕追手門学院大学経営学部教授
〔担当科目〕デジタルマーケティング

増山 美佳
〔現職〕増山&Company(同)代表社員社長、サントリー食品インターナショナル(株)社外取締役、鴻池運輸(株)社外取締役、メットライフ生命(株)社外取締役
〔担当科目〕コーポレートガバナンス

光山 誠 ※OIC総合研究機構客員教授
〔現職〕歯科医師、医療法人敬英会理事長、社会福祉法人敬英福祉会理事長

南 和気
〔現職〕オムロン(株) 執行役員 グローバル人財総務本部長
〔担当科目〕異文化マネジメント

山口 冬樹
〔現職〕Abies Ventures(株) 代表取締役マネージング・パートナー
〔担当科目〕ベンチャーファイナンス

若林 秀樹
〔現職〕熊本大学卓越教授、J-SIA 政策提言TF座長
〔担当科目〕半導体・デジタル産業

東川 達三
〔現職〕弁理士法人新樹グローバル・アイビー、ジェネラル・マネージャー
〔担当科目〕Business Negotiation

廣田 章光
〔現職〕近畿大学 経営学部商学科教授、デザイン・クリエイティブ研究所所長
〔担当科目〕マーケティング

藤川 健
〔現職〕龍谷大学 経済学部准教授
〔担当科目〕競争戦略

牧野 剛士
〔現職〕Makino Analytics Design LLC. 代表社員、(株)Eco-Pork リードAIアドバイザー
〔担当科目〕統計・データ分析、論理的思考とプレゼンテーション

増田 紀美子
〔現職〕増田紀美子事務所代表
〔担当科目〕マーケティング

松本 雄一
〔現職〕関西学院大学 商学部教授
〔担当科目〕実践共同体による人材育成

水野 成容
〔現職〕京都リサーチパーク(株) 参与 海外・公共連携担当
〔担当科目〕新規事業開発

三輪 淳之
〔現職〕大阪国際大学 経営経済学部 教授
〔担当科目〕ビジネス法務

山川 茂孝
〔現職〕(株)ヤマックスラボ代表取締役
〔担当科目〕マーケティングリサーチ

中本 悟
〔現職〕立命館大学経済学部特任教授 ※兼任教員
〔担当科目〕国際政治経済

観光マネジメント専攻

Major in Tourism Management

観光事業マネジメントプログラム

Tourism Management Development Track

ビジネスや経営に関する知識とともに、観光産業の企業・団体等でビジネスを創造するリーダーとして求められる能力を身につけるためのプログラムです。宿泊業等の観光産業の企業・団体における経営者や幹部候補の方、観光産業で新しいキャリアを築きたい方、あるいは観光産業で起業を目指している方も歓迎します。授業は大阪梅田キャンパスにて、平日夜間と土日に開講。講義科目についてはオンライン同時配信を全面的に実施します。これにより、全国どこからでも授業に参加でき、全国各地の同じ志をもつ人たちとのネットワークも築けます。

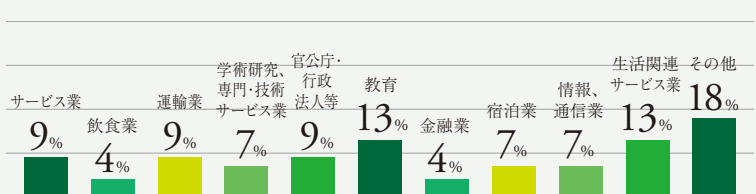


[在学生の年齢]

20代	30代	40代	50代	60代
7%	22%	33%	27%	11%

※小数点以下第1位を四捨五入しています。

[在学生の所属業界の割合]



観光事業キャリア形成プログラム

Tourism Career Development Track

ビジネスや経営に関する知識とともに、将来、観光産業の企業・団体等でビジネスを創造するリーダーになるために必要とされる能力を向上させるためのプログラムです。宿泊業等の観光産業の企業・団体におけるキャリアを築きたい方のほか、観光産業で起業を目指している方も歓迎します。授業は原則として大阪いばらきキャンパスにて平日昼間に開講。一部の特殊講義科目は、主に平日夜間や土日に大阪梅田キャンパスで、観光事業マネジメントプログラムの院生と一緒に授業を受けることができ、多くの刺激が得られます。フィールドワークなど、観光事業の現場で課題発見力や解決力を磨くための機会も豊富です。



観光が日本経済の根幹を担うことが期待されると同時に、世界的に見ても観光が今世紀最大の産業となることが確実視されています。特に日本では、インバウンド客の急増とともに「オーバーツーリズム問題」がクローズアップされるようになってきています。このような課題に取り組み、解決の方向を探ることが観光を持続的に発展させるカギであり、そのために「観光経営」の知識を持った人材の育成が求められています。観光マネジメント専攻においてはこの目的に沿って、従来から積み上げてきたRBSの実績をもとに、より観光経営に特化した学びを実現してゆきます。今、実社会から大きな期待を寄せられている「観光経営力」を観光MBAで身につけると共に、そこでともに学んだ仲間とのネットワークを卒業後も発展させ、日本の観光の未来を築いてゆきたいと考え、みなさんの参加をお待ちしております。一緒に明日の観光の未来を作り上げましょう。



観光マネジメント専攻 専攻長 石崎 祥之

在学生の声 | 観光事業マネジメントプログラム

経営企画部門にて会社の転換期に関わったことを機に、観光産業に対する視野を広げたいと思いRBSに入学しました。現在は業務の調整がしやすい人事で採用業務を行いながら受講しています。RBSでは、海外でのプログラム参加など実践的な経験をさせていただいています。先生方だけでなく、観光産業に関わる同期生の皆様から様々な知見を得られることもRBSの魅力です。ここで得た知識や経験を活かし、今後のキャリアの選択肢を増やしていきたいです。



古屋 結衣 さん
株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド
ヒューマンキャピタル部 スーパーバイザー

在学生の声 | 観光事業キャリア形成プログラム

RBSでは経営や観光の基礎はもちろん、専門科目や課外授業を通じた実践的な学びができます。また社会人院生や留学生、さらには現場の第一線で活躍されている実務家の方々との交流を通じた学びも可能です。私はこれまで参加してきた地域ボランティアなどをきっかけに、将来的に地元静岡県の観光産業に貢献できる人材になりたいと考えています。その具体的な方向性を模索するため、観光経営の勉強と自分探しの意味合いも込めRBSに入学しました。



亀田 仁太郎 さん
立命館大学 経営学部出身

[観光事業マネジメントプログラム開講科目一覧]

コア科目 (18単位以上)		選択科目 (特殊講義を除く科目から18単位以上)		実習科目	演習科目 (必修4単位)
A群(必修12単位)	B群(6単位以上)	ユニット			
競争戦略 組織行動 マーケティング アカウンティング ファイナンス サービス イノベーション	国際経営 企業倫理と サステイナブル 経営 ビジネス創造 リーダーシップ ビジネス エコノミクス 統計・データ分析	観光企業経営ユニット		観光事業 特殊講義 観光事業 マネジメント 特殊講義	インターン シップ フィールド ワーク <

[観光事業キャリア形成プログラム開講科目一覧]

コア科目 (18単位以上)		選択科目 (特殊講義を除く科目から18単位以上)		実習科目	演習科目 (必修4単位)	
A 群 (必修12単位)	B 群 (6単位以上)	ユニット				特殊講義
競争戦略 組織行動 マーケティング アカウンティング ファイナンス サービス イノベーション	国際経営 企業倫理と サステイナブル 経営 ビジネス創造 リーダーシップ ビジネス エコノミクス 統計・データ分析	観光企業経営ユニット		観光事業 特殊講義 観光事業 キャリア形成 特殊講義	インターン シップ フィールド ワーク リサーチ プロジェクト I リサーチ プロジェクト II	
		ホスピタリティマネジメント サービスと ホスピタリティのデザイン 観光企業の市場創造				ホテル・リゾート企業の マネジメント 旅館経営
		観光事業ユニット				
		ディスティネーション マネジメント 観光地ブランディング	リゾート＆ エンターテインメントビジネス MICE マネジメント インバウンドマーケティング			
		観光産業・観光ユニット				
		観光産業イノベーション				
		観光産業における 情報・デジタル技術 観光産業における リスクマネジメント	交通ビジネス 観光産業政策 観光まちづくり			
		経営管理ユニット				
		人的資源管理 マーケティングリサーチ 企業分析	Business Communication Business Negotiation			

RBSの学び | 観光マネジメント専攻

ラグジュアリーブランディング

この講義では、ホスピタリティ業界におけるラグジュアリーブランドの構築という視点から、日本における高級ホスピタリティブランドの特徴を理解します。具体的には、ブランド戦略、顧客体験、マーケティング、サービス標準について実践的に学び、温泉旅館や高級ホテルの成功事例を通じて、ブランドの構築方法や差別化戦略を習得します。また、グループディスカッションやケーススタディを通じて、現代の高級ホスピタリティ業界で求められる知識やスキルを実践的に身につけていきます。



金井 良宮 客員教授

RBSの学び | 観光マネジメント専攻

フィールドワーク

観光が21世紀のリーディング産業として世界的な注目を集めるなか、旅行者、観光産業、地域にとって、「環境」「文化」「経済」の観点で持続可能かつ発展性のある観光の実現に向けた観光ビジネスの創造と変革が重要な課題となっています。いわゆる「サステイナブル・ツーリズム」を実現するための様々なビジネス実践をマーケティングやマネジメントの観点から実践的に学びます。関係者からのレクチャーや現地視察などを通じて、持続可能な観光企業経営・観光地経営に対するものの見方や課題を発見する力を身につけます。これと並行して、受講生は、それぞれの問題意識に基づき調査プロジェクトを実施し、課題発見と解決策の提示または提言等を行います。



大島 知典 准教授

RBSの学び | 観光マネジメント専攻

リサーチプロジェクト

観光マネジメント専攻のリサーチプロジェクトでは、院生一人ひとりが設定した研究テーマに基づき、調査・研究を行います。少人数の環境で、指導教員や同じリサーチプロジェクトに所属する院生とのディスカッション、文献講読、プレゼンテーション、現地調査などを通して、研究テーマをブラッシュアップしていきます。取り組んでいる研究が、産業界や地域社会、あるいはアカデミアにどのように貢献できるかを常に意識することで、研究を遂行し、結果をレポートにまとめるために必要なスキルや知識、活動が明確になってくるでしょう。また、RBSの観光マネジメント専攻に在籍する他の意欲的な院生と共に研究活動を行う経験は、将来のキャリアに大いに役立つことでしょう。



永井 隼人 准教授



石崎 祥之 教授

〔専門分野〕観光マーケティング、宿泊経営

〔経歴〕国際連合地域開発センター研究員を経て、1995年本学経営学部に着任、2024年度より観光マネジメント専攻長。



西本 恵子 教授

〔専門分野〕国際会議・MICE、デスティネーション・マネジメント

〔経歴〕国際会議・MICE・サステナビリティ分野で国際的に活動する実務家教員。京都大学博士（経営科学）。



森本 大 教授

〔専門分野〕経営戦略、ビジネス創造

〔経歴〕ベンチャー創業、国内外企業の経営を経て、現在、プライベートエクイティの投資先企業を経営。ハーバードMBA。



吉岡 郁栄 教授

〔専門分野〕市場分析、企業分析、経営戦略

〔経歴〕市場調査・競合調査に基づいた事業計画策定、戦略策定を専門とする。



大島 知典 准教授

〔専門分野〕サービスマネジメント、観光マーケティング

〔経歴〕立命館大学大学院経営学研究科企業経営専攻博士後期課程修了、博士（経営学）。



牧田 正裕 教授

〔専門分野〕サービスマネジメント、観光まちづくり、組織とガバナンス、会計とコントロール

〔経歴〕立命館大学大学院経営学研究科博士後期課程中退、博士（経営学、立命館大学）。



山田 政弘 教授

〔専門分野〕観光マーケティング、ファミリービジネス、経営戦略、事業再生、企業投資、M&A、アクティビスト対応、DX・IT

〔経歴〕ジェミニ ストラテジー グループ（株）代表取締役CEO、（株）ダイドーリミテッド代表取締役会長 兼 CEO。



永井 隼人 准教授

〔専門分野〕旅行者行動、観光マーケティング、デスティネーション・マネジメント

〔経歴〕クイーンズランド大学ビジネススクール博士課程修了。和歌山大学観光学部准教授等を経て2024年4月より現職。



三木 健治 教授

〔専門分野〕観光政策、観光まちづくり

〔経歴〕1991年3月鹿児島大学大学院工学研究科修了 工学修士。



山田 雄一 教授

〔専門分野〕観光政策、観光地マネジメント、観光地ブランディング

〔経歴〕公益財団法人日本交通公社理事／博士（社会工学）。



二階堂 忠春 教授

〔専門分野〕リーダーシップ、組織行動、コーチング、組織コミュニケーション

〔経歴〕一般社団法人 日本NLP能力開発協会 代表理事。東北大学法学部卒業、南カリフォルニア大学 経営大学院修了。



宮口 直人 教授

〔専門分野〕旅館経営、財務会計、管理会計、観光マーケティング

〔経歴〕（株）ビズユナイテッド 代表取締役／（株）JTB総合研究所 客員研究員／経営学修士（会計学専攻）。



横山 健一郎 教授

〔専門分野〕ホテル・リゾート企業のマネジメント

〔経歴〕国内外ハイアットホテルにて役職。京都市観光協会アドバイザー、京都府参与。

客員教員

梅原 真

〔現職〕梅原デザイン事務所 代表取締役・デザイナー

金井 良宮

〔現職〕（株）御湯所 ブランドディレクター、（株）無沓庵 宗家 ディレクター

〔担当科目〕ラグジュアリーブランディング

澤田 純

〔現職〕日本電信電話（株）取締役会長

澤田 充

〔現職〕（株）ケイオス 代表取締役 CEO

沢柳 知彦

〔現職〕（株）ブレインピックス 代表取締役

〔担当科目〕ホテルインベストメント

他力野 淳

〔現職〕バリューマネジメント（株）代表取締役

中村 葉志生

〔現職〕（株）ハリアンドカンパニー 代表取締役

〔担当科目〕企業倫理とサステイナブル経営

原 忠之

〔現職〕Associate Professor (Tenured), Rosen College of Hospitality Management, University of Central Florida

別所 哲也

〔現職〕俳優、（株）パシフィックボイス代表取締役、（株）ビジュアルボイス代表取締役、ショートショートフィルムフェスティバル & アジア代表

ポールクリスティ

〔現職〕Walk Japan Ltd. CEO、The Japan Travel Company（株）取締役会長、Ota Estates（株）代表取締役

丸岡 直樹

〔現職〕文化庁文化観光推進コーディネーター、バリューマネジメント（株）GM

〔担当科目〕ヘリテージツーリズム

丸田 健太郎

〔現職〕KPMG 有限責任あずさ監査法人 常務執行理事

〔担当科目〕レスポンスブルゲーミング

藻谷 浩介

〔現職〕（株）日本総合研究所 調査部主席研究員

〔担当科目〕サステイナブルツーリズム

本橋 潤子

〔現職〕名古屋商科大学大学院教授、慶應義塾大学商学部講師（非常勤）

〔担当科目〕企業倫理とサステイナブル経営

森 清顕

〔現職〕北法相宗事務長 清水寺執事・教学部長 清水寺学峯長 泰産寺住職

森口 巳都留

〔現職〕（株）MICE ジャパン 代表取締役、『MICE Japan』発行・編集人

〔担当科目〕MICE施設のマネジメント

非常勤講師

和泉 大樹

〔現職〕阪南大学国際学部国際観光学科教授

〔担当科目〕アートツーリズム

小川原 桜子

〔現職〕メットライフ生命保険（株） マーケティング部門 イベントマネジメントグループ グループ長

〔担当科目〕イベントプランニング

栢木 紀哉

〔現職〕龍谷大学経営学部経営学科教授

〔担当科目〕統計・データ分析

木村 まさみ

〔現職〕関西学院大学教育学部非常勤講師、武庫川女子大学文学部英語グローバル学科非常勤講師

〔担当科目〕Business Communication

重谷 陽一

〔現職〕阪南大学国際学部国際観光学科准教授

〔担当科目〕観光産業イノベーション

高森 桃太郎

〔現職〕関西学院大学商学部准教授

〔担当科目〕Business Negotiation

竹田 宗継

〔現職〕同志社大学グローバル・コミュニケーション学部戦略講師

〔担当科目〕Business Communication

東野 正剛

〔現職〕（株）パシフィックボイス執行役員

〔担当科目〕映像と観光ビジネス

鳥山 正博

〔現職〕明治大学大学院グローバル・ビジネス研究科教授

〔担当科目〕マーケティングリサーチ

西田 和倫

〔現職〕西田公認会計士事務所代表

〔担当科目〕アカウンティング

西原 和彦

〔現職〕弁護士法人 本町国際総合法律事務所 代表パートナー

〔担当科目〕Business Negotiation

西村 典芳

〔現職〕流通科学大学人間社会学部観光学科教授 学部長、日本観光経営学会会長

〔担当科目〕ウェルネスと観光ビジネス

波江野 武

〔現職〕デロイトーマツコンサルティング（同） 執行役員戦略ユニット長

〔担当科目〕統計・データ分析

橋本 良子

〔現職〕事業構想大学院大学事業構想研究科教授

〔担当科目〕ビジネス創造

畠山 俊宏

〔現職〕龍谷大学経済学部国際経済学科准教授

〔担当科目〕国際経営

原 一樹

〔現職〕京都外国語大学国際貢献学部グローバル観光学科教授

〔担当科目〕コンテンツと観光ビジネス

三輪 卓己

〔現職〕桃山学院大学経営学部 教授

〔担当科目〕人的資源管理

善本 哲夫

〔現職〕立命館大学経営学部教授 ※兼任教員

〔担当科目〕ビジネスエコノミクス

人材育成目的と3つのポリシー

本研究科の人材育成目的、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)、入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)は、本研究科ホームページに掲載しています。

➡ <https://www.ritsumei.ac.jp/mba/introduce/mission/>

入学試験の概要 (2026年4月入学)

詳細は必ず「入学試験要項」にてご確認ください。

「立命館大学大学院 入試情報サイト」の「入試情報」のページでご確認いただけます。



- 入学定員…経営管理専攻 80名(マネジメントプログラム40名、キャリア形成プログラム40名)
観光マネジメント専攻 70名(観光事業マネジメントプログラム40名、観光事業キャリア形成プログラム30名)

入学試験日程	出願期間	試験日	合格発表日
9月実施入学試験	2025年7月17日(木)～7月31日(木)	9月20日(土)、21日(日)	10月9日(木)
11月実施入学試験	2025年10月9日(木)～10月23日(木)	11月15日(土)、16日(日)	12月4日(木)
2月実施入学試験	2026年1月8日(木)～1月22日(木)	2月14日(土)、15日(日)	2月26日(木)

※試験日は入試方式ごとに異なります。詳細は入試要項で確認してください。

対象	入試方式※2	募集プログラム	9月実施	11月実施	2月実施
社会人の方※1を 対象とした入学試験方式	社会人入学試験(一般)	マネジメントプログラム 観光事業マネジメントプログラム	○	○	○
	社会人入学試験 (企業等推薦型・自己推薦型)		○	○	○
大学を卒業見込みおよび卒業後に 大学院に進学する方を対象とした入学試験方式	一般入学試験	キャリア形成プログラム 観光事業キャリア形成プログラム	○	○	○
	外国人留学生入学試験(RJ方式)		○	○	—
立命館大学およびAPUに在学中の方を 対象とした入学試験方式	学内進学入学試験		○	○	○
	APU特別受入入学試験		○	○	—
	飛び級入学試験		○	○	—

※1 本研究科入学時点で企業・行政等の組織における3年以上の職業経験(NPO活動なども含む)を有している方(詳細は入学試験要項で確認してください)。

※2 選考方法：書類選考、筆記試験(論述試験)、面接試験。ただし、一般入学試験・外国人留学生入学試験(RJ方式)以外の入試方式では筆記試験を免除します。

科目等履修生制度

「MBA科目を1科目から受講できます」

※所定の要件を満たし、かつ3年以上の職業経験を有する方が対象です。

ビジネスに関する基礎的素養をもとめる方や、戦略、人事、マーケティング、財務、M&Aなど、特定課題で実践力をもとめる方に、お勧めです。

- 科目等履修生制度とは、科目等履修生として科目を履修し、所定の要件を満たすと単位を修得できる制度です。

- 修得した単位については、正規課程入学後に20単位を限度として認定することがあります。ただし、入学時に該当科目が廃止されている場合は、単位認定できないことがあります。

- 1科目につき週1回200分×7週間(約2ヶ月)で構成され、平日・夜間(18:30-21:55)、土曜・日曜の開講につき、勤務などの都合に合わせた科目選択が可能です。

- 出願資格や履修科目の詳細は「2025年度 経営管理研究科 科目等履修生出願手続要項」を確認してください。

学費

参考:2025年度学費〔標準修業年限〕※1

	1年次	2年次	合計
入学金	200,000円※2	—	200,000円
授業料	1,349,800円 (春学期 674,900円+秋学期 674,900円)	1,349,800円 (春学期 674,900円+秋学期 674,900円)	2,699,600円
計	1,549,800円	1,349,800円	2,899,600円

※1 長期履修制度または早期修了制度を利用した場合の学費額については、経営管理研究科事務局までお問い合わせください。

※2 立命館大学または立命館アジア太平洋大学の学部を卒業した者が本学大学院に入学する場合などは、入学金を徴収いたしません。対象に関する詳細は経営管理研究科ホームページをご確認ください。

奨学金制度

本研究科では、社会人学生を対象とした奨学金制度(立命館大学専門職大学院経営管理研究科奨励奨学金)を設けています。

[奨学金制度概要]

名称	募集対象	金額	給付人数	選考方法・時期
立命館大学専門職大学院 経営管理研究科奨励奨学金	経営管理研究科が実施する社会人入学試験 (一般、企業等推薦型・自己推薦型)の 成績上位者	《給付》 100,000円(学期) ※2年間(4学期)給付	最大40名	入学試験の成績上位者から 採用内定者を選出し、 合格発表時に本人に通知

※「長期履修制度の申請者」、および「国費留学生制度またはこれに類する制度により資金を得て入学を予定している者」は、この奨学金の対象とはなりません。

専門実践教育訓練給付金

〔経営管理専攻マネジメントプログラム〕

観光マネジメント専攻の観光事業マネジメントプログラムは対象講座ではありません。

経営管理研究科経営管理専攻マネジメントプログラムは「専門実践教育訓練給付制度」の対象講座として指定されています。専門実践教育訓練給付制度とは、一定の条件を満たす雇用保険の被保険者(在職者)や離職者が、厚生労働大臣の指定する専門実践教育訓練を受講し修了した場合、教育訓練施設に支払った授業料等の一部(最大128万円)を、本人に対して給付金として支給する制度です。専門実践教育訓練給付金の受給には、一定の要件を満たす必要があります。詳細については本研究科ホームページを確認の上でお近くのハローワークにお問い合わせください。

一般教育訓練給付金

〔観光マネジメント専攻観光事業マネジメントプログラム〕

経営管理研究科観光マネジメント専攻観光事業マネジメントプログラムは、「一般教育訓練給付制度」の対象講座に指定されています。一般教育訓練給付制度とは、厚生労働省が働く人の主体的な能力開発の取組みを支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。一定の条件を満たす雇用保険の被保険者(在職者)または被保険者であった方(離職者)は、本人自らが教育訓練施設に支払った教育訓練経費の20%に相当する額(上限10万円)がハローワーク(公共職業安定所)から支給されます。修了日の翌日から起算して1か月以内に、所管のハローワークで申請手続きをおこなっていただくことにより10万円支給されます。

履修証明プログラム

大学等における正規の学位プログラムの他に、社会人等の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム(履修証明プログラム)により、その修了者に対して法に基づく履修証明書(Certificate)を交付するものです。修了までには総時間数として、60時間以上が必要となります。

- Agriculture Management Program (AMP)
本研究科では、(株)農林中金アカデミーの寄附講座として農林水産業分野の経営人材育成を通じて地域社会の発展に資することを目的として、「Agriculture Management Program」(AMP)を開設しています。
- 観光マネジメント履修証明プログラム
本研究科では、観光分野の教育の充実に向けて取り組んでいます。その一環として、「観光マネジメント履修証明プログラム」を開設しています。

教育課程連携協議会

専門職大学院設置基準により、教育課程連携協議会を設置しています。人材育成に高い見識をお持ちの各位から、教育課程の編成や実施、授業科目の開発や実施に関して、意見や指摘をいただき、次回の協議会において進捗に対して評価いただいています。

会 長：株式会社安藤佳則事務所 代表取締役社長 安藤 佳則 氏
委 員：鶴雅ホールディングス 代表取締役社長 大西 雅之 氏
NISSHA株式会社 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木 順也 氏
学校法人大和学園 理事長 田中 誠二 氏
株式会社ボードアドバイザーズ 代表取締役社長 佃 秀昭 氏
CVCキャピタルパートナーズ日本法人 最高顧問 藤森 義明 氏
公益財団法人日本交通公社 会長 光山 清秀 氏
立命館大学校友会 副会長 森川 典子 氏
立命館大学 副学長 野口 義文 氏

※2024年12月開催時